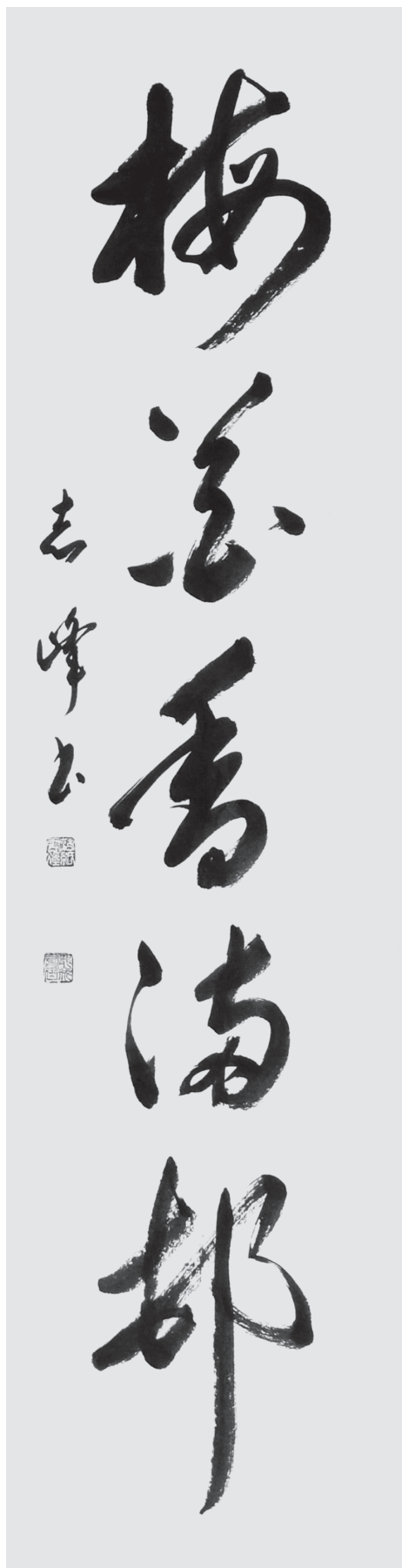


半切四分の一に書くⅡ (13)

締切り 一月二十四日 (必着)



神谷 葵水 先生 書

◎本誌に条幅(半切)の課題が正式に設置されたのは、平成十一年七月のことです。その前の約八年間は、半切への足がかりとして半切四分の一のサイズ(約六八cm×十七、五cm)で条幅の基礎を学んでまいりました。

◎このコーナーでは、元愛知教育大学名誉教授・神谷葵水先生の当時のお手本をもとに、改めて条幅の基礎を学びます。平成二十六年にも一年間学びましたので、今回はパートⅡになります。

◎条幅は苦手という方、大きい作品に気後れしている方は、この機会にぜひ、条幅の草稿作りのつもりで気軽に取り組んでみましょう。

〔読み〕ばいかこうはむらにみつ 梅花香満邨(宋・陸游の詩句)

〔大意〕梅の香気が村中に満ちている。

〔解説〕

・用紙に五文字をバランスよく収めることが大切です。行の中心、字間、天地のあき等に注意しましょう。紙を折る、下敷の罫を利用する等の方法もあります。

・お手本をよくみると、各字に大小の違いがあることがわかります。潤渇も考えてみましょう。その方が動きやリズムが出て表現が豊かになります。

・できる方は、書体や崩し方を変換してオリジナルな作品に挑戦して下さい。その際、字典でしっかり調べるのが肝要です。

・落款(署名・印)も作品の一部です。丁寧に収めましょう。印のない方は□を赤ペン又は朱墨で書いて下さい。

〔作品の出し方〕

▼毛筆部Ⅱ条幅半切四分の一(約六八cm×十七、五cm)に書いて下さい。

▼硬筆部ⅡB5版(二五七mm×一八二mm)以下の紙に課題手本のような枠線を引いて下さい。用具は自由ですが、細い線は相応しくありません。(フエルトペン・筆ペン可)

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

一般部規定課題

締切り 1月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔変換例〕

(辞) 辞
(儀) 儀
(足) 足
(過) 過

◎行書は、字形以上に線質に留意して伸びやかに書きましょう。

し過ぎた方がよい
し足りないより
お辞儀は

おくむら のぶ ゆき 書
奥村暢之

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕

自然
然
淘
汰
保
存

保	有	自
存	用	然
さ	な	淘
れ	も	汰
る	の	と
原	が	は
理		

おお たに せい じょう 書
大谷清城

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

★自然…(書体Ⅱ楷書)

ダーウィン(一八〇九～一八八二)
イギリスの博物学者

普通よりも首の長い変種のキリンは、
そうでないキリンに比べて、多くの葉
を取るのに有利なため、環境の変化に
よって食糧不足が起った時でも生存
することができるといふ考え方です。
生き残るといふことは、いかに変化
に適応できるかにかかっています。

◆2月課題予告(行書)

何の

予備知識も無く
凄じものが凄じ

★お辞儀…(書体Ⅱ行書)

トルストイ(一八二八～一九一〇)
ロシアの作家

腰は低く、謙虚であった方が世の中
は渡りやすく、社交術の第一歩は先ず
丁寧なお辞儀ができることだと言っ
ています。

「微笑と握手には金も時間もかから
ない」と高級紳士服店の成功者も商売
繁盛の秘訣を説いています。

◆2月課題予告(行草または草書)

進まざる者必ず退き
退かざる者必ず進む

福沢諭吉

▼教範・書範Ⅱ行書

▼師範Ⅱ楷書

締切り 1月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

外套の裏は緋なりき明治の雪

外套の裏は緋なりき明治の雪

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

た なか き こう
田 中 貴 光 書

▷用具=自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

た なか き こう
田 中 貴 光 書

▷用具=自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

ぐわいたう
外套の裏は緋なりき明治の雪

（山口青邨）

【句解】降る雪を見ていると少年時代の明治の頃が思い出され、あの頃の黒い羅沙の外套には緋色の裏地がついて、雪の中に翻るその色が印象的で、思えばあの時代はよい時代であった。

【鑑賞】 中村草田男くさたおの〈降る雪や明治は遠くなりけり〉と同じようにしき

りに降る雪は、人の思いを昔へ導く。重苦しい戦争の時代、昭和十七年にこの句が作られ、明治人の作者にとって、明治が輝かしい時代に思えたのであろう。

〔古筆参考〕

[illegible]

〔解説〕 段位（だんい）は、

へくへく)から右下側半分で書き続ける(中央に寄せない)。前の字から次の字への線を少しでも短く書き、すっきり連綿をする。

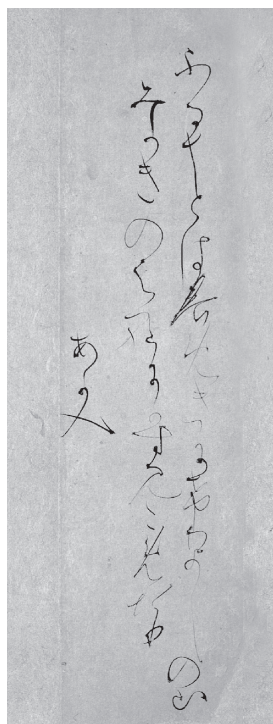
◆2月課題予告

遠とほき家いへの氷柱落つららちたる光かな

（高浜年尾）
たかはまとしお

〔古筆参考〕

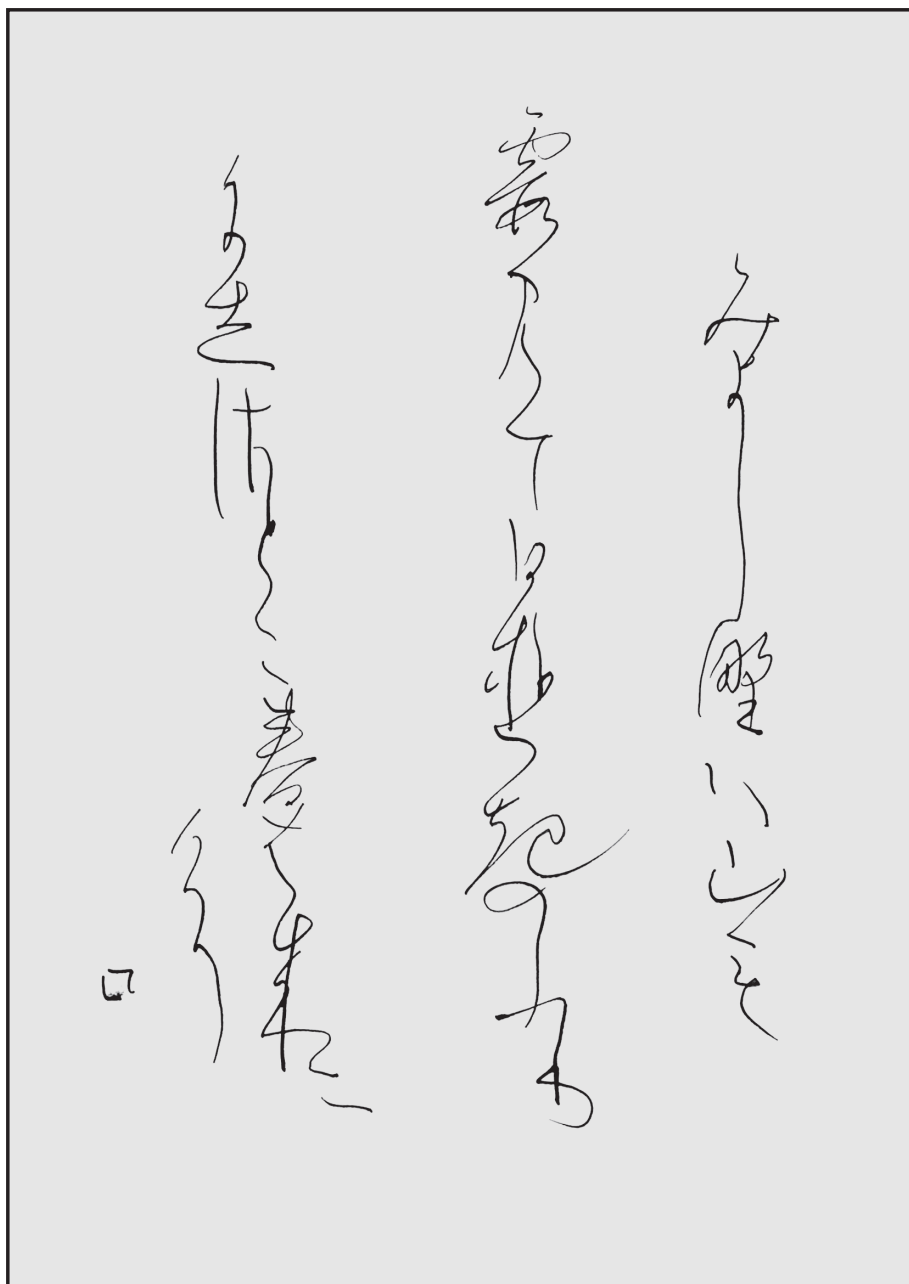
こうしぎれ
香紙切



ふるさと免は春免めきにけり希よし利の山
みかき可のはら者にかすみ爾こめ見たり免
あか可人

締切り 一月二十四日（必着）

築瀬舟香書



「はじめに」

明けましておめでとう御座居ます。
今年も会長先生からの御依頼により

拙いお手本を書く事になりました。皆様とご一緒に学んでまいりたいと存じます。今年の古筆は「香紙切」、歌集

は新古今和歌集。平安時代に思いを馳せて一年楽しく学びましょう。よろしくお願い致します。

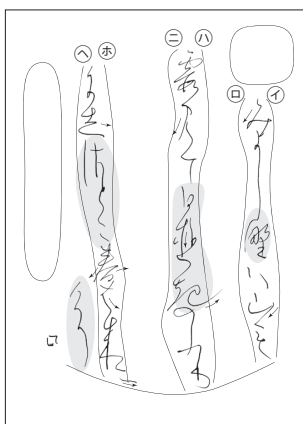
み吉野遊は山八もかすみ毛て白雪見の
ふりにし里利に春志はき佐にけり二

〔歌意〕吉野の里はもとより山も霞んで、ついこの間まで白雪の降っていた古里にも春は訪れたよ。

〔出典〕新古今和歌集

（新潮日本古典集成）

〔解説〕



・①と②、①と③、①と④、①と⑤、
①と⑥、①と⑦、①と⑧、それぞれ
呼应。

・〇余白大切。

・密の動き大切。

・の方向・場所大切。

◆2月課題予告

山ふかみ春ともしらぬ松の戸に
たえだえかかる雪のたま水

締切り 1 月 24 日(必着)

寒さが厳しい今日この頃ですが、
お変わりありませんか。我が家の
玄関先には早くも福寿草の黄色い
蕾つぼみが顔を出し始めました。今年も
暖かな日にいらっしやいませんか。
可愛い花たちとお待ちしています。

※手本は水性ボールペン使用

寒さが厳しく今日この頃ですが、
お変わりありませんか。我が家の
玄関先には早くも福寿草の黄色い
蕾が顔を出し始めました。今年も
暖かな日にいらっしやいませんか。
可愛い花たちとお待ちしています。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

お 郷 すい こう
尾 郷 翠 光 書

元日草などの異名がある福寿草は
正月の飾り花によく用いられる。

茨城県常総市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 1月24日(必着)

新入から1級まで
(楷書)

須田一葉書

麗日光華

〔読み〕麗日光華を發す

〔大意〕うらかな春の日は全てのものが光り輝いている。

準初段から師範まで

奥村暢之臨

惕馬朽
納隍卑

〔出典〕孔子廟堂碑（626～633）〔筆者〕虞世南（558～638）

〔読み〕惕し、朽を馭して隍に納れ、（宮を）卑しく

惕

馭

朽

納

隍

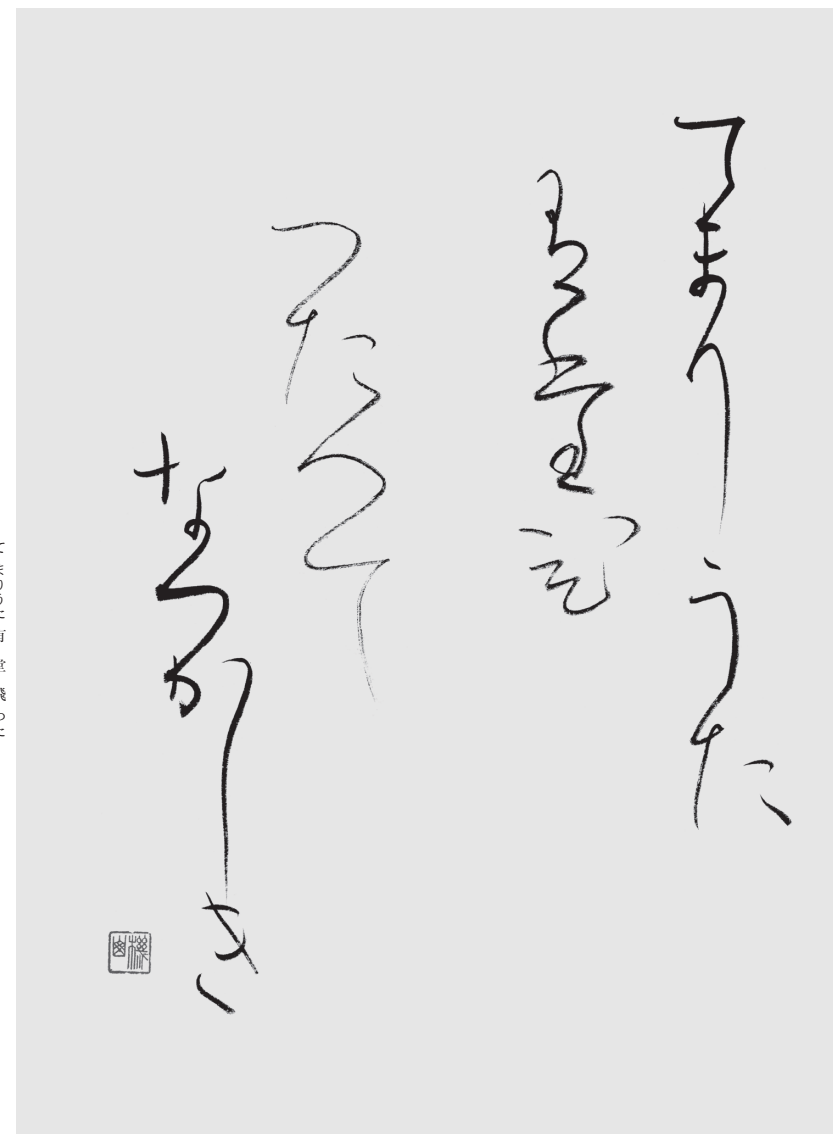
卑

一般部毛筆かな課題

締切り 1月24日(必着)

新入から1級まで

浅井機山先生書

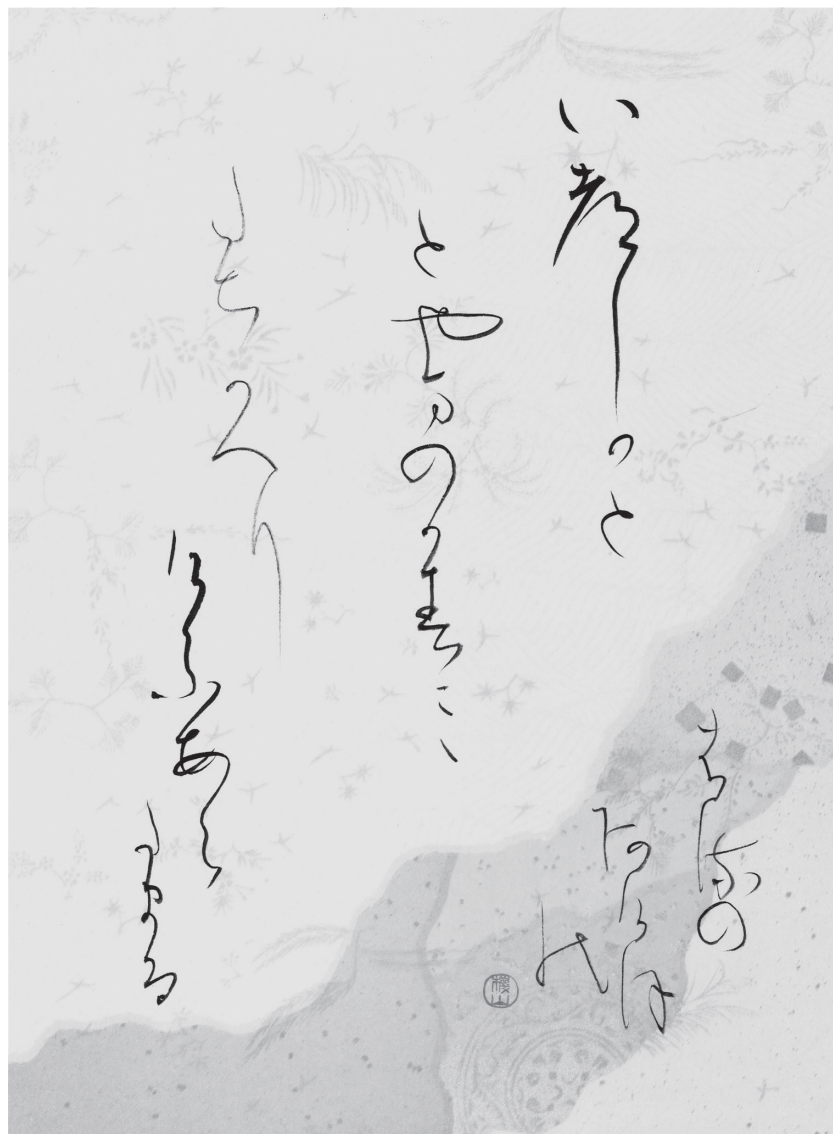


〔出典〕高浜虚子

〔句意〕子供達が手毬に興じている。その唄を聞いていると、自分も子供の頃うたったままなのである。手毬唄に耳をかたむけ、幼時への郷愁を感じた句。

準初段から師範まで

■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。



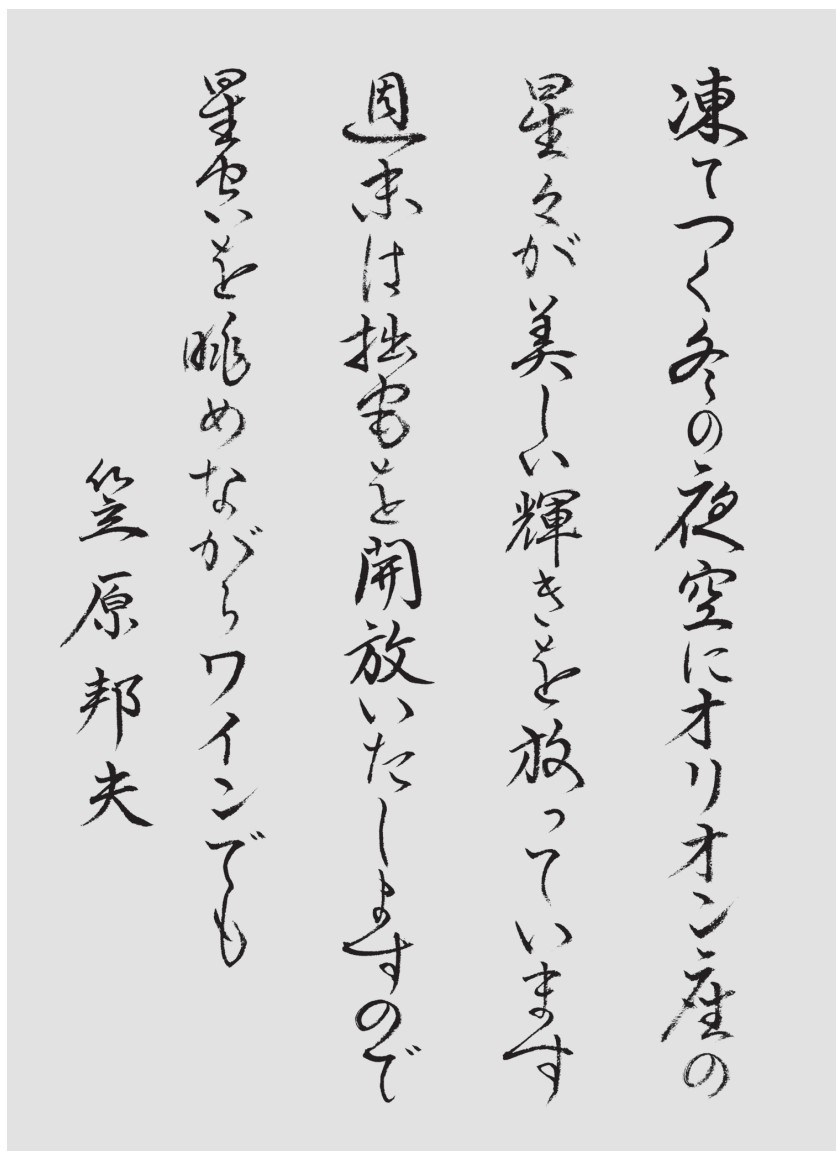
〔出典〕藤原定家

〔歌意〕待ちあこがれていた人里近い山の霞ももどって来て、今日からは季節のあらたまる新春の朝である。

いつしかとやまの霞たちかへり
けふあらたまる春のあけぼの

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



締切り 一月二十四日（必着） 半切（一二六cm×三五cm）

荻田蒼仙書

萬山春色を
帰

〔大意〕東風が吹いて
山々が青くなり春めい
てきた。
初出品の方へ
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

半紙（334mm×240mm）

伊藤梅香書

〔条幅解説〕課題の集字聖教や孔子廟堂を頭に入れ
ながら書き始めたものの、枚数を重ねるうちに地
金が出て、こんな結果の作になりました。満足し
ていません。

凍てつく冬の夜空にオリオン座の
星々が美しく輝きを放っています
週末は拙宅を開放いたしますので
星々を眺めながらワインでも

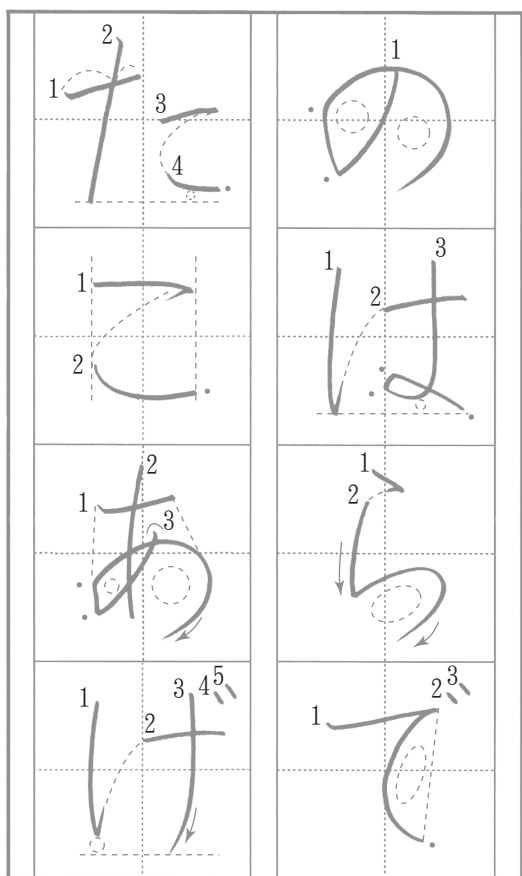
（ご自分の氏名）

・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

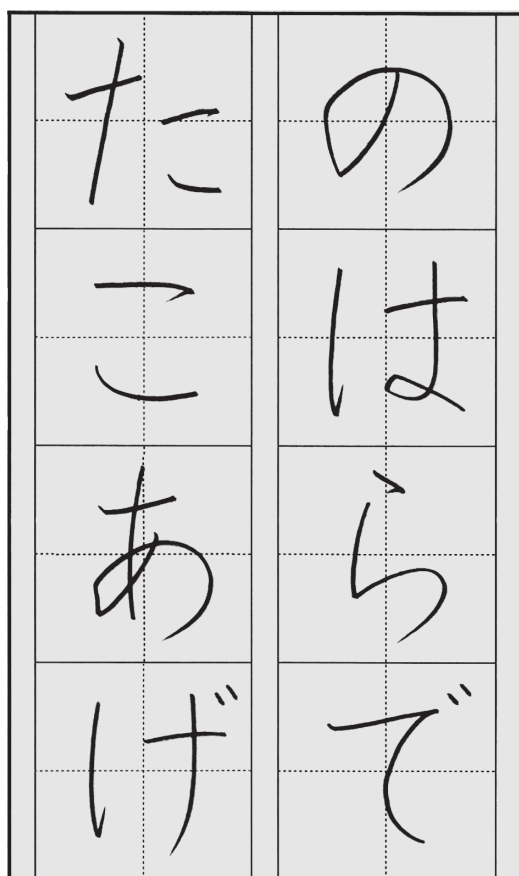
- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績（天位～5等）は、評価により毎月かわり
ます。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



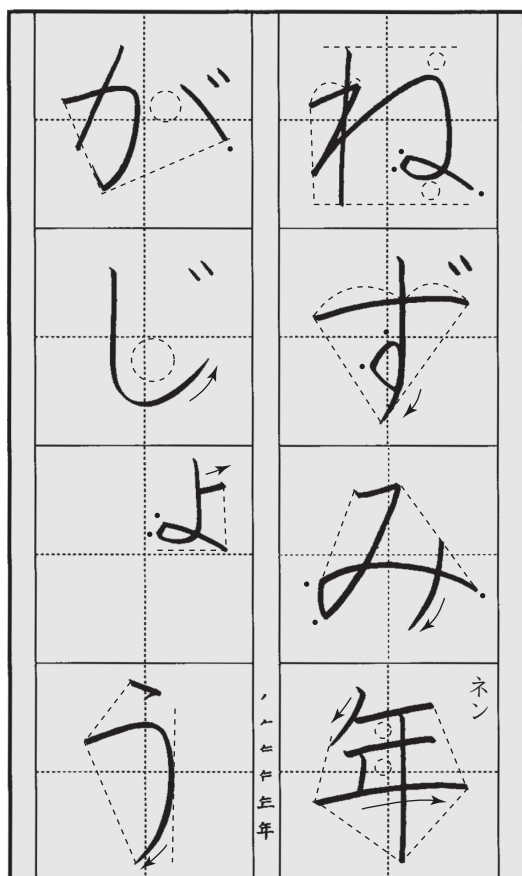
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



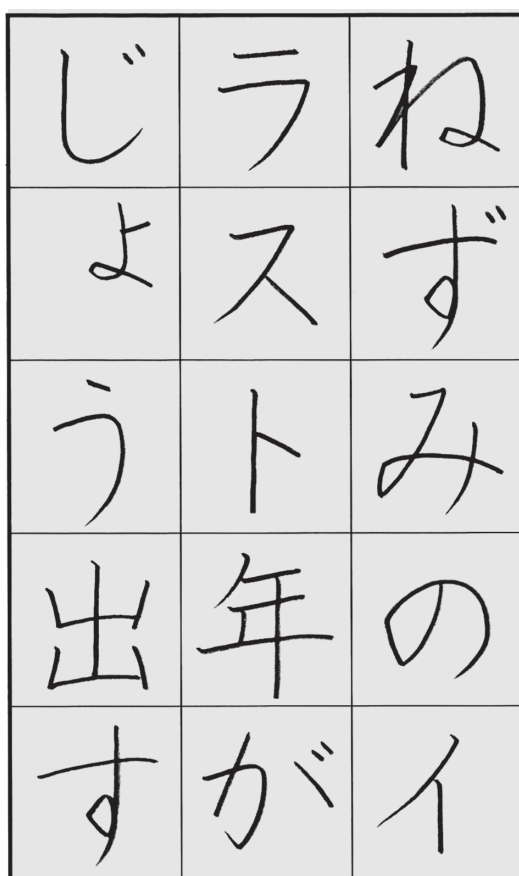
よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

た	母
手	が
ま	作
り	つ

新入1級

色	う	母
の	つ	が
手	く	作
ま	し	つ
り	い	た

小二年

準初段以上

る	平
い	和
年	で
に	明

新入1級

こ	い	平
め	年	和
書	に	で
い	と	明
た	心	る

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

健康	美
康	し
願	い
う	国

新入〜1級

康	と	緑
を	家	美
願	族	し
う	の	い
よ	健	国

小四年

準初段以上

小四年以上
岡嶋桂川書

団	地
元	元
初	消
式	防

解説(よく見て習いましょう)

初	団	地
め	に	元
式	よ	の
見	る	消
た	出	防

小五年

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

小六年

感	こ	困
謝	え	難
の	友	を
心	達	乗
を	に	り

(全員)

※友達＝単語としてこのように読みます。

解説(よく見て習いましょう)

達	困
感	難
謝	乗
心	友

〈用具〉自由(黒色に限る)

中一年

活	環	野
動	境	鳥
に	を	の
参	守	生
加	る	息

(楷書)

中二・三年

(行書)

々	を	飛
専	目	躍
念	標	の
す	に	一
る	日	年

▼小三年以下の課題

にし じ せい れん 蓮 書

※〔読み〕川原＝単語としてこのように読みます。

天 ^{てん}	た	み	川 ^{かわ}	風 ^{かぜ}
ま	こ	ん	原 ^{かわら}	の
で	上 ^あ	な	に	強 ^{つよ}
高 ^{たか}	げ	で	集 ^{あつ}	い
く			まり	日 ^ひ
				は



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 1月24日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題

はや かわ りん か 早 川 林 花 書

願 ^{ねが}	家 ^か	神 ^{じん}	受 ^う	朝 ^{あさ}
い	族 ^{ぞく}	社 ^{じゃ}	け	の
ご	そ	に	な	陽 ^{よう}
と	ろ	初 ^{はつ}	が	光 ^{こう}
	っ	も	ら	を
	て	う		
		で		



◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



小 二 年

小 一 年

よ う 年

手
ま
り

みず の へき ゆう
水 野 碧 友 書

ね
ず
み

みず の へき ゆう
水 野 碧 友 書

た
こ

みず の へき ゆう
水 野 碧 友 書

注…コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1
(68cm × 17.5cm)に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。

小 五 年

小 四 年

小 三 年

出
初
め
式

小
五

たま き しょう か
玉 樹 小 華 書

美
し
い
国

小
四

たま き しょう か
玉 樹 小 華 書

明
る
い
年

小
三

たま き しょう か
玉 樹 小 華 書

注：コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆ 1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1
(68cm × 17.5cm) に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。

中二・三年

中 一 年

小 六 年

中二
三
飛躍の一年

みず の こう ちく
水 野 香 竹 書

中一
環境を守る

みず の こう ちく
水 野 香 竹 書

小六
感謝の心

みず の こう ちく
水 野 香 竹 書

注…コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1
(68cm × 17.5cm) に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。